



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場会社名 株式会社JMS
コード番号 7702 URL <https://www.jms.cc/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桂 龍司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 末田 穰
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 082-243-5844

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	14,600	2.2	△111	—	△73	—	△260	—
2023年3月期第1四半期	14,281	3.5	△104	—	△78	—	△36	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,153百万円 (△24.5%) 2023年3月期第1四半期 1,527百万円 (215.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△10.66	—
2023年3月期第1四半期	△1.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2024年3月期第1四半期	75,964		39,654		52.0	
2023年3月期	74,407		38,700		51.8	

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 39,478百万円 2023年3月期 38,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,400	8.1	350	—	400	610.5	300	—	12.27
通期	67,000	5.1	1,000	37.9	1,100	87.5	800	184.7	32.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	24,733,466 株	2023年3月期	24,733,466 株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	284,412 株	2023年3月期	284,366 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	24,449,081 株	2023年3月期1Q	24,431,913 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「かけがえない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。

事業活動としましては、輸液・栄養領域、透析領域、外科治療領域、血液・細胞領域の4つの領域を中心に事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第1四半期連結累計期間は、日本国内においては、薬剤調製・投与クローズドシステムや白血球除去フィルター付血液バッグの販売が堅調に推移した一方で、前期において医療機関の設備投資再開による需要拡大が一巡した血液透析装置のほか、医療用手袋、栄養セットの販売が減少しました。海外においては、国・地域ごとに状況は異なるものの、新型コロナウイルスの影響からの需要回復が見られ、海外主力の成分献血用回路や血液バッグ、中国向け血液透析装置が売上を伸ばしました。

以上の結果、売上高は、前年同四半期に比べ3億18百万円増加の146億円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

利益につきましては、増収効果はあるものの、原材料費や電力費等の高騰影響に加え、研究開発費や販売費も増加したことにより、営業損失は1億11百万円（前年同四半期は営業損失1億4百万円）となりました。また、為替差益の計上などにより、経常損失は73百万円（前年同四半期は経常損失78百万円）となり、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億60百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失36百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

薬剤調製・投与クローズドシステムや白血球除去フィルター付血液バッグ、中国向け血液透析装置の販売が堅調に推移したものの、国内で血液透析装置や医療用手袋、栄養セットの販売が減少したほか、欧州向けA V F針（血液透析用針）の販売が顧客の在庫調整で減少したことにより、売上高は98億87百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。また、セグメント損益については、減収影響に加え、原材料費や電力費の高騰影響等により、64百万円の損失（前年同四半期は1億75百万円の損失）となりました。

(シンガポール)

停滞していた海外需要が回復基調にあり、成分献血用回路やアジア及びアフリカ向け血液バッグの販売が増加したことにより、売上高は50億30百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。また、セグメント損益については、増収効果はあるものの、原材料費の高騰や需要回復に備えた労務費の増加もあり、59百万円の損失（前年同四半期は57百万円の利益）となりました。

(中国)

市場成長による需要の拡大を受け、血液透析装置や人工腎臓用血液回路、A V F針の販売が堅調に推移したことにより、売上高は9億69百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。また、セグメント損益については、原材料費の高騰や労務費の増加に加え、一般管理費の増加もあり、4百万円の損失（前年同四半期は38百万円の利益）となりました。

(フィリピン)

日本向け輸液セットの販売が減少したものの、アジア向け血液バッグや成分献血用回路、欧州向けA V F針の増加により、売上高は8億99百万円（前年同四半期比16.3%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果はあるものの、原材料費や電力費の高騰に加え、労務費や設備投資に伴う減価償却費の増加もあり、14百万円（前年同四半期比75.9%減）となりました。

(ドイツ)

欧州向けA V F針や血液バッグの販売が好調に推移し、売上高は10億58百万円（前年同四半期比20.3%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果により、1億32百万円（前年同四半期比248.9%増）となりました。

(その他)

北米向けA V F針の販売が減少したことなどにより、売上高は10億16百万円（前年同四半期比18.6%減）となり、セグメント利益については10百万円（前年同四半期は18百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億56百万円増加の759億64百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億7百万円増加の431億71百万円となりました。この主な要因は、商品及び製品が増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6億49百万円増加の327億93百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が増加したためであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ22億48百万円増加の246億85百万円となりました。この主な要因は、短期借入金と1年内返済予定の長期借入金が増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16億46百万円減少の116億24百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億54百万円増加の396億54百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.2ポイント上昇の52.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境には依然として不透明さが残るため、現時点におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想について、2023年5月12日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,329	6,993
受取手形及び売掛金	17,197	15,781
商品及び製品	9,158	10,044
仕掛品	3,096	3,577
原材料及び貯蔵品	5,503	6,117
その他	1,008	685
貸倒引当金	△30	△29
流動資産合計	42,263	43,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,219	9,456
機械装置及び運搬具（純額）	8,756	8,895
その他（純額）	8,032	8,397
有形固定資産合計	26,008	26,749
無形固定資産		
のれん	119	116
その他	728	692
無形固定資産合計	847	808
投資その他の資産		
投資その他の資産	5,372	5,327
貸倒引当金	△84	△90
投資その他の資産合計	5,287	5,236
固定資産合計	32,144	32,793
資産合計	74,407	75,964

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,699	8,727
短期借入金	4,002	4,779
1年内返済予定の長期借入金	3,916	4,799
未払法人税等	141	109
賞与引当金	1,111	625
その他	4,566	5,644
流動負債合計	22,437	24,685
固定負債		
長期借入金	11,599	9,847
役員退職慰労引当金	151	155
退職給付に係る負債	500	538
資産除去債務	189	301
その他	828	781
固定負債合計	13,270	11,624
負債合計	35,707	36,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,351	10,351
利益剰余金	17,514	17,046
自己株式	△219	△219
株主資本合計	35,057	34,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	362	492
為替換算調整勘定	3,110	4,396
その他の包括利益累計額合計	3,473	4,889
非支配株主持分	169	176
純資産合計	38,700	39,654
負債純資産合計	74,407	75,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	14,281	14,600
売上原価	10,925	11,222
売上総利益	3,356	3,378
販売費及び一般管理費	3,460	3,489
営業損失(△)	△104	△111
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	27	25
為替差益	59	41
その他	21	35
営業外収益合計	111	104
営業外費用		
支払利息	37	43
持分法による投資損失	42	18
その他	5	3
営業外費用合計	85	66
経常損失(△)	△78	△73
特別利益		
固定資産売却益	5	0
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	5	4
特別損失合計	5	5
税金等調整前四半期純損失(△)	△78	△77
法人税、住民税及び事業税	72	86
法人税等調整額	△106	99
法人税等合計	△33	185
四半期純損失(△)	△44	△263
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36	△260

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△44	△263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	130
為替換算調整勘定	1,544	1,286
その他の包括利益合計	1,572	1,416
四半期包括利益	1,527	1,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,530	1,146
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,338	2,356	454	2	879	13,032	1,249	14,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	738	2,221	486	771	0	4,216	—	4,216
計	10,077	4,577	940	773	879	17,248	1,249	18,498
セグメント利益又は損失(△)	△175	57	38	59	37	17	△18	△0

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△18
セグメント間取引消去	5
持分法投資利益又は損失(△)	△42
その他の調整額	△40
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△78

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,071	2,952	495	4	1,058	13,583	1,016	14,600
セグメント間の内部 売上高又は振替高	815	2,077	474	895	0	4,262	—	4,262
計	9,887	5,030	969	899	1,058	17,846	1,016	18,862
セグメント利益又は損失(△)	△64	△59	△4	14	132	17	10	28

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17
「その他」の区分の利益又は損失(△)	10
セグメント間取引消去	△60
持分法投資利益又は損失(△)	△17
その他の調整額	△23
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△73

(重要な後発事象)

出資持分の取得による企業結合

当社の連結子会社であるジェイ・エム・エス・シンガポールPTE.LTD.は、2023年7月14日に、以下のとおり、旭化成メディカル株式会社から同社の子会社にあたる旭化成医療科技(張家港)有限公司(英文名称 Asahi Kasei Transfusion Technology Co., Ltd. 以下、「AKTT社」)の出資持分の全てを譲り受ける旨を決定し、出資持分譲渡契約を締結しました。

1 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 旭化成医療科技(張家港)有限公司

事業の内容 輸血用白血球除去フィルターの開発・製造・販売

(2) 企業結合を行う主な理由

当社は、主力事業の一つである血液事業において、献血の際に血液を保存する血液バッグなど、採血から輸血までに必要となる製品の製造販売をグローバルに展開しております。日本をはじめ多くの国では、献血で採取された血液から作られる血液製剤の輸血時の副作用を予防するため、白血球除去フィルターを組み込んだ血液バッグが使用されており、今後もその需要は拡大する見込みです。

AKTT社では、旭化成メディカル株式会社の白血球除去フィルターに係る技術、ノウハウも活用して、主に中国国内向けに白血球除去フィルターを製造販売しております。

この度、当社の事業基盤を強化し需要拡大に機動的かつ効率的に対応すべく、旭化成メディカル株式会社よりAKTT社の出資持分の全てを取得して当社の孫会社とすることといたしました。これにより、これまで外部調達してきた白血球除去フィルターを内製化し、血液バッグとの一体的な事業運営を通じてシナジーを創出するとともに、白血球除去フィルターの供給という新たな役割を担うことで世界の血液関連市場における存在感を一層高め、事業収益の拡大を図ってまいります。

(3) 企業結合日

現時点では確定しておりません。

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする出資持分取得

(5) 取得後の持分比率

100%

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として出資持分を取得することによるものです。

2 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

相手先からの要請により非開示とさせていただきます。

3 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。